

不要な課金トラブルを避けるために



「ペアレンタルコントロール」で保護者に代わって見守り

意図せず子どもが有害サイトにアクセスしてしまうことすべてを保護者が監視することは不可能です。

家族で安心してスマホが使えるよう、「ペアレンタルコントロール」によって利用制限の設定を検討しましょう。



「ペアレンタルコントロール」でできる主なこと

- アプリや動画などのコンテンツに対する制限
- 特定のアプリの使用時間に関する制限
- ゲームのプレイ時間の監視
- 他者とのコミュニケーションの制限
- ゲームソフトなどの購入の制限
- 購入やダウンロードに関する制限

等

カード決済で課金する場合に保護者が気をつけること

保護者のクレジットカードで課金してしまうのは一見すると子どもの問題と思いがちですが、実は保護者の問題でもあります。保護者は、子どもがスマートフォンを正しく使えるようクレジットカード情報などをきちんと管理することが大切です。詳しくは以降のページをご確認ください。

- ① クレジットカードは、子どもに自由に使わせない
- ② パスワードは、子どもにも教えない
- ③ 子どものスマートフォンにカード情報を残していないか
- ④ カード利用明細書を見れば「異変」に気づける
- ⑤ ストアからの「購入完了メール」は見落とさない
- ⑥ キャリア決済の利用上限額を最低限に設定する
- ⑦ 子どもと一緒にオンラインゲームのアカウント設定をする

カード決済で課金する場合に保護者が気をつけること

① クレジットカードは、子どもに自由に使わせない

クレジットカードの名義人は、カードを利用するための情報をきちんと管理する等のルールがあります。名義人でない子どもが利用してしまった場合、クレジットカード会社から管理責任を問われます。また、カードを簡単に持ち出せないよう、管理方法も工夫しましょう。

② パスワードは、子どもにも教えない

クレジットカードのパスワードは、誕生日や電話番号など、子どもが簡単に推測できるようなものは避けましょう。

カード決済で課金する場合に保護者が気をつけること

③ 子どものスマートフォンにカード情報を残していないか

子どもが利用しているスマートフォンなどに、保護者のクレジットカード情報(番号やパスワードなど)を登録していませんか。

一度登録した情報は保存されるのが一般的です。子どもに与える前に情報を削除しておきましょう。また、子どもから「このアプリを買ってほしい」と頼まれてクレジットカード情報を入力した際には、都度カード情報を消すなどしましょう。

④ カード利用明細書を見れば「異変」に気づける

いち早く状況を把握するためにも、カード会社から毎月送付される利用明細書はこまめに確認しましょう。

カード決済で課金する場合に保護者が気をつけること

⑤ ストアからの「購入完了メール」は見落とさない

アプリストアから購入した場合は、購入完了メールが送信されます。
登録しているメールをこまめに確認しましょう。

⑥ キャリア決済の利用上限額を最低限に設定する

スマートフォン契約時はキャリア決済利用上限額が5万円にデフォルトで設定されています。
キャリア決済で高額な支払いができないよう利用上限額を再設定しましょう。

⑦ 子どもと一緒にオンラインゲームのアカウント設定をする

アカウント設定でプレイヤーの年齢設定を正しく行うことで、機能や課金の制限を
することができます。